

平成25年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月12日

上場会社名 株式会社TSIホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 3608 URL <http://www.tsi-holdings.com>
 代表者 (役職名)代表取締役会長兼社長 (氏名)三宅 正彦
 問合せ先責任者 (役職名)管理本部副本部長 (氏名)大石 正昭 (TEL)03(5213)5516
 四半期報告書提出予定日 平成24年10月12日 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第2四半期の連結業績(平成24年3月1日~平成24年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第2四半期	90,534	73.9	1,076		1,123		2,424	
24年2月期第2四半期	52,049		4,346		5,754		4,656	

(注) 包括利益 25年2月期第2四半期 4,334百万円(%) 24年2月期第2四半期 8,287百万円(%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第2四半期	20 94	
24年2月期第2四半期	46 78	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年2月期第2四半期	183,972	112,928	59.4
24年2月期	190,804	119,255	60.7

(参考) 自己資本 25年2月期第2四半期 109,322百万円 24年2月期 115,900百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期		0 00		17 50	17 50
25年2月期		0 00			
25年2月期(予想)				17 50	17 50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年2月期の連結業績予想(平成24年3月1日~平成25年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	188,000	27.2	500		0		1,600		13 82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - 以外の会計方針の変更 : 無
 - 会計上の見積りの変更 : 無
 - 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)	25年2月期2Q	115,783,293株	24年2月期	115,783,293株
期末自己株式数	25年2月期2Q	3,319株	24年2月期	2,905株
期中平均株式数 (四半期累計)	25年2月期2Q	115,780,084株	24年2月期2Q	99,537,483株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当社は、平成23年6月1日に、(株)東京スタイルと(株)サンエー・インターナショナルの共同株式移転の方法による共同持株会社として設立されました。当社設立に際し、(株)東京スタイルを取得企業として企業結合会計を適用しているため、前第2四半期連結累計期間(平成23年3月1日から平成23年8月31日まで)の連結経営成績は、取得企業である(株)東京スタイルの前第2四半期連結累計期間(平成23年3月1日から平成23年8月31日まで)の連結経営成績を基礎に、(株)サンエー・インターナショナルの平成23年6月1日から平成23年8月31日までの連結経営成績を連結したものであります。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項.....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間.....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間.....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社は、平成23年6月1日に、㈱東京スタイルと㈱サンエー・インターナショナルの共同株式移転の方法による共同持株会社として設立されました。当社設立に際し、㈱東京スタイルを取得企業として企業結合会計を適用しているため、前第2四半期連結累計期間（平成23年3月1日から平成23年8月31日まで）の連結経営成績は、取得企業である㈱東京スタイルの前第2四半期連結累計期間（平成23年3月1日から平成23年8月31日まで）の連結経営成績を基礎に、㈱サンエー・インターナショナルの平成23年6月1日から平成23年8月31日までの連結経営成績を連結したものです。

このため、当第2四半期連結累計期間と前第2四半期連結累計期間との単純な比較ができませんので、前年同四半期との対比は行っておりません。

当第2四半期連結累計期間（平成24年3月1日から平成24年8月31日まで）における我が国経済は、当初においてこそ東日本大震災後の復興関連需要や設備投資の持ち直し傾向が見られたものの、欧州信用不安に起因する世界経済の低迷や円高に伴う輸出の鈍化などにより、景気は弱含みのまま推移しました。

アパレル業界においては、総じて消費動向が低調に終始したことに加え、ライフスタイルの変容に伴う顧客意識と購買行動の変化による影響もあり、全体として不安定な状況が続きました。

こうしたなか当社グループは、中期経営計画を策定するとともに事業拠点の整理統合を推進し、併せて傘下の東京スタイルグループ及びサンエー・インターナショナルグループの管理部門及び生産物流部門の各統合を実施するなど、持株会社の機能強化とグループ運営の効率化を図りました。また、営業面においても、引き続きグループ各社が緊密に連携して積極的な事業活動を展開しました。

その結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は905億34百万円となりました。損益面では、新規出店及びコスト構造改革に伴う投資を先行させたこと等により、営業損失は10億76百万円、経常損失は11億23百万円となりました。

また、固定資産売却益や投資有価証券売却益などの特別利益3億93百万円、投資有価証券評価損などの特別損失10億36百万円をそれぞれ計上したこと等により、当社グループの四半期純損益は24億24百万円の損失となりました。

セグメント別の売上の概況は次の通りです。

（東京スタイルグループ）

㈱東京スタイルの事業構造の改革を引き続き進めるとともに、採算管理手法の見直しにより、低収益・不採算の店舗・売場約300箇所の閉鎖、不採算4ブランドの廃止などコスト構造改革を強力に断行し、販売効率の向上と収益体質の改善を図りました。また、㈱ナノ・ユニバースをはじめとしたM&Aによるグループ会社が順調に売上を拡大するとともに、Web販売にも積極的に取り組むなど事業基盤の拡充に向けた様々な施策に取り組みました。

その結果、東京スタイルグループの売上高は392億円54百万円となりました。

（サンエー・インターナショナルグループ）

消費者のライフスタイルの変化を踏まえ集客力のある新規商業施設に積極的に出店を図るとともに、アウトレット事業を㈱サンエー・インターナショナルに吸收集約することにより商品販売の一貫体制を構築しました。また、基幹ブランドである「ナチュラルビューティーベシック」においては、引き続きテレビCMによる積極的な広告宣伝活動を展開するとともに、東南アジア進出への足がかりとしてシンガポールに初出店しました。

その結果、サンエー・インターナショナルグループの売上高は513億12百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の資産、負債及び純資産の状況

(単位:百万円)

	前連結会計年度末 (平成24年2月29日)	当第2四半期連結会計期間末 (平成24年8月31日)	増減
総資産	190,804	183,972	6,831
負債	71,548	71,044	503
純資産	119,255	112,928	6,327
自己資本比率	60.7%	59.4%	1.3%
1株当たり純資産	1,001.04円	944.23円	56.81円

総資産は、たな卸資産の増加（前期末比9億96百万円増）、有形固定資産の増加（前期末比13億37百万円増）等があったものの、投資有価証券の減少（前期末比92億29百万円減）等により、68億31百万円の減少となりました。

負債は、短期借入金の増加（前期末比44億94百万円増）等があったものの、支払手形及び買掛金の減少（前期末比16億76百万円減）、未払法人税等の減少（前期末比2億56百万円減）、未払費用の減少等による流動負債「その他」の減少（前期末比11億17百万円減）、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）の減少（前期末比15億97百万円減）等により、5億3百万円の減少となりました。

純資産は、利益剰余金の減少（前期末比44億50百万円減）、その他有価証券評価差額金の減少（前期末比21億61百万円減）等により、63億27百万円の減少となりました。

以上の結果、1株当たり純資産は56.81円の減少となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年7月13日に発表しました平成25年2月期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（平成24年10月12日）発表の「通期業績予想の修正のお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	32,101	31,725
受取手形及び売掛金	14,207	13,897
有価証券	1,999	2,308
商品及び製品	19,991	20,661
仕掛品	929	1,314
原材料及び貯蔵品	262	203
その他	5,344	6,121
貸倒引当金	672	523
流動資産合計	74,164	75,710
固定資産		
有形固定資産	21,165	22,503
無形固定資産		
のれん	4,712	4,169
その他	3,306	3,289
無形固定資産合計	8,018	7,459
投資その他の資産		
投資有価証券	65,518	56,289
その他	22,324	22,431
貸倒引当金	387	421
投資その他の資産合計	87,454	78,299
固定資産合計	116,639	108,262
資産合計	190,804	183,972
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,889	20,212
短期借入金	18,976	23,470
1年内返済予定の長期借入金	4,320	3,334
未払法人税等	1,656	1,399
賞与引当金	1,470	1,390
ポイント引当金	394	416
株主優待引当金	22	6
返品調整引当金	607	435
資産除去債務	69	92
その他	10,907	9,790
流動負債合計	60,313	60,549
固定負債		
社債	74	53
長期借入金	2,485	1,873
退職給付引当金	1,618	1,596
役員退職慰労引当金	896	892
資産除去債務	2,262	2,342
その他	3,897	3,736
固定負債合計	11,235	10,495
負債合計	71,548	71,044

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,000	15,000
資本剰余金	70,956	70,956
利益剰余金	28,779	24,329
自己株式	1	1
株主資本合計	114,734	110,283
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,361	800
繰延ヘッジ損益	5	2
為替換算調整勘定	200	158
その他の包括利益累計額合計	1,166	961
新株予約権	291	336
少数株主持分	3,063	3,269
純資産合計	119,255	112,928
負債純資産合計	190,804	183,972

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
売上高	52,049	90,534
売上原価	28,358	44,235
売上総利益	23,690	46,298
販売費及び一般管理費	28,036	47,374
営業損失()	4,346	1,076
営業外収益		
受取利息	289	254
受取配当金	305	351
為替差益	12	25
その他	201	332
営業外収益合計	809	964
営業外費用		
支払利息	44	128
店舗等除却損	181	57
有価証券評価損	386	315
投資有価証券評価損	428	98
デリバティブ評価損	876	213
その他	297	198
営業外費用合計	2,216	1,011
経常損失()	5,754	1,123
特別利益		
固定資産売却益	22	325
投資有価証券売却益	-	48
負ののれん発生益	4,039	-
新株予約権入益	272	-
その他	101	20
特別利益合計	4,436	393
特別損失		
固定資産除却損	32	35
減損損失	710	49
投資有価証券売却損	549	8
投資有価証券評価損	702	902
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	315	-
災害による損失	71	-
段階取得に係る差損	40	-
その他	168	40
特別損失合計	2,592	1,036
税金等調整前四半期純損失()	3,909	1,766
法人税、住民税及び事業税	789	1,279
法人税等調整額	264	833
法人税等合計	524	446
少数株主損益調整前四半期純損失()	4,433	2,212
少数株主利益	223	211
四半期純損失()	4,656	2,424

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失()	4,433	2,212
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,725	2,162
繰延ヘッジ損益	21	8
為替換算調整勘定	84	46
持分法適用会社に対する持分相当額	22	2
その他の包括利益合計	3,854	2,121
四半期包括利益	8,287	4,334
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,539	4,551
少数株主に係る四半期包括利益	251	217

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失()	3,909	1,766
減価償却費	1,419	2,345
負ののれん発生益	4,039	-
のれん償却額	595	542
貸倒引当金の増減額(は減少)	46	118
退職給付引当金の増減額(は減少)	7	22
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	39	3
賞与引当金の増減額(は減少)	814	80
返品調整引当金の増減額(は減少)	387	171
ポイント引当金の増減額(は減少)	7	22
株主優待引当金の増減額(は減少)	11	15
受取利息及び受取配当金	595	606
支払利息	44	128
有価証券評価損益(は益)	386	315
店舗等除却損	181	57
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	315	-
固定資産売却損益(は益)	22	325
固定資産除却損	32	35
減損損失	710	49
投資有価証券売却損益(は益)	549	39
投資有価証券評価損益(は益)	1,131	1,000
デリバティブ評価損益(は益)	876	213
災害損失	71	-
売上債権の増減額(は増加)	1,333	323
たな卸資産の増減額(は増加)	3,623	960
仕入債務の増減額(は減少)	3,184	1,700
新株予約権戻入益	272	-
段階取得に係る差損益(は益)	40	-
その他	213	1,103
小計	1,599	1,877
利息及び配当金の受取額	591	623
利息の支払額	36	133
法人税等の支払額	850	2,364
法人税等の還付額	422	866
災害損失の支払額	71	-
違約金の支払額	200	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,743	2,885

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額（は増加）	30	239
有価証券の取得による支出	-	550
有価証券の売却による収入	-	2,000
有形固定資産の取得による支出	1,883	3,142
有形固定資産の売却による収入	56	548
投資有価証券の取得による支出	1,341	13
投資有価証券の売却による収入	4,276	3,791
無形固定資産の取得による支出	54	712
敷金及び保証金の差入による支出	212	327
敷金及び保証金の回収による収入	462	480
長期前払費用の取得による支出	99	128
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	8,141	-
その他	0	179
投資活動によるキャッシュ・フロー	6,968	2,005
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（は減少）	240	4,464
長期借入金の返済による支出	979	1,567
配当金の支払額	1,541	2,026
少数株主への配当金の支払額	13	12
その他	45	230
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,819	627
現金及び現金同等物に係る換算差額	46	5
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	11,577	247
現金及び現金同等物の期首残高	25,675	27,497
株式移転による現金及び現金同等物の増加額	10,879	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	24,976	27,250

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成23年3月1日至平成23年8月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	東京スタイル グループ	サンエー・イ ンターナシ ョナルグル ープ	計		
売上高					
外部顧客への売上高	27,985	24,018	52,004	45	52,049
セグメント間の 内部売上高又は振替高	48	3	51	51	
計	28,034	24,021	52,056	6	52,049
セグメント損失()	3,360	958	4,319	26	4,346

(注)1 「調整額」の区分は、主に事業セグメントに帰属しない当社(純粋持株会社)であります。

2 セグメント損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失()と調整を行っております。

3 サンエー・インターナショナルグループは、平成23年6月1日から平成23年8月31日までを連結したものと
なります。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「サンエー・インターナショナルグループ」セグメントにおいて、退店の意思決定をした店舗及び
営業損益が継続してマイナスである店舗について帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を
店舗等除却損に含めて営業外費用に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において120百万円であります。

また、「サンエー・インターナショナルグループ」セグメントにおいて、営業損益が継続してマイ
ナスであり、翌連結会計年度においてもマイナスが見込まれる連結子会社等について帳簿価額を回収
可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において709百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「東京スタイルグループ」セグメントにおいて、㈱フィットの株式を第1四半期連結会計期間に取
得し、同社を連結子会社としました。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間において1,163百万円であり
ます。

また、「東京スタイルグループ」セグメントにおいて、㈱エレファント及び㈱ローズバッドの株式
を当第2四半期連結会計期間に取得し、当該2社を連結子会社としました。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間において7,938百万円であり
ます。

(重要な負ののれん発生益)

当社は、平成23年6月1日に、㈱東京スタイルと㈱サンエー・インターナショナルの共同株式移転の方法による共同持株会社として設立されましたが、㈱東京スタイルを取得企業として企業結合会計を適用しているため、㈱サンエー・インターナショナルを完全子会社とする過程において、負ののれん4,039百万円が発生しました。当該負ののれんは、当第2四半期連結累計期間において、負ののれん発生益として特別利益に計上しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年8月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	東京スタイル グループ	サンエー・イ ンターナショ ナルグループ	計		
売上高					
外部顧客への売上高	39,244	51,290	90,534		90,534
セグメント間の 内部売上高又は振替高	10	22	33	33	
計	39,254	51,312	90,567	33	90,534
セグメント利益又は損失()	1,505	628	877	199	1,076

(注)1 「調整額」の区分は、主に事業セグメントに帰属しない当社(純粹持株会社)であります。

2 セグメント損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失()と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「東京スタイルグループ」セグメントにおいて、閉鎖の意思決定をしたブランドに係る店舗等について帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において29百万円であります。

また、「サンエー・インターナショナルグループ」セグメントにおいて、退店の意思決定をした店舗及び営業損益が継続してマイナスである店舗について帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を店舗等除却損に含めて営業外費用に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において25百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。